

入院されている患者様へ

## 「急性期病院における後期高齢患者の食事摂取量低下の実態調査」 の研究への協力をお願い

私は、聖路加国際大学大学院博士後期課程に在籍しております看護師の菅原啓太（すがわら けいた）と申します。現在、高齢の患者様が食事を食べられるようになるためのケアについて研究しています。今回の調査では、皆さまが食事をどの程度召し上がっているのか、食事が食べることが難しい場合の原因や影響は何かを検討するための情報を得たいと考えています。

本研究により食事摂取量が低下している患者様の実態を把握することができれば、そのような患者様に対して貢献できるケアを考えるための、基礎資料とすることができると考えています。研究の趣旨をご理解のうえ、ぜひご協力をお願いいたします。

### 《研究の対象》

病棟に入院されている患者様のうち、3日間程度、食事が食べられない方を対象としています。

《研究の期間》 2020年9月1日～2021年9月30日

### 《ご協力をお願いしたいこと》

患者様ご自身に、特別に行っていただくことはございません。

以下に記載します、カルテに記載してある情報や看護師の方が患者様を観察して得た情報を収集させていただきます。

### ～収集する情報～

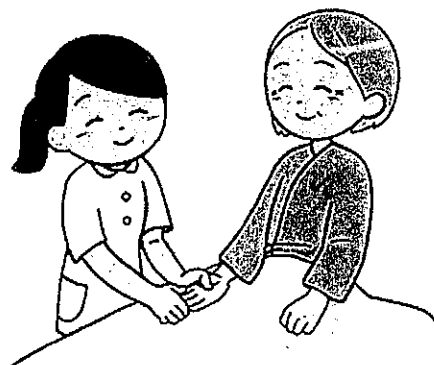
- ◇ 基本的な情報：性別、年齢区分、入院期間、身長、体重など
- ◇ 疾患・治療の情報：病名、既往歴、治療内容、血液データなど
- ◇ 日常生活行動
- ◇ 症状の有無や程度：食欲不振、悪心・嘔吐、腹痛の程度など
- ◇ 障害の有無：口腔内障害の有無、義歯の有無、味覚障害の有無など
- ◇ 食事摂取量や食事行動など：食事摂取量、食事内容、食事時の姿勢、食事介助の有無など

## 《研究へご協力いただく際の約束》

1. 研究に協力するかどうかは、ご自身で自由に決めることができます。本研究に協力いただくことで、患者様に直接的な利益はありません。
2. 協力するしないにかかわらず、受ける治療や看護は通常と変わりありませんし、不利益を被るようなことは一切ありません。また、協力への同意後に同意撤回する場合でも不利益を被るようなことは一切ありません。
3. 一度、同意したあとでも、いつでも研究協力を取りやめることができます。その場合は、研究者へ撤回書を提出する、もしくはお名前をお伝え下さい。撤回書を提出する場合は、病棟管理者へ提出していただいても構いません。該当する記録用紙およびExcel ファイルに入力したデータを破棄いたします。ただし、データの分析開始後は、個人のデータだけを抜き出すことが困難となるため、撤回することができない旨をご了承ください。
4. 情報収集の期間、記録用紙には、患者様の氏名を記入させていただきます。情報収集終了後は、速やかに記録用紙の患者様氏名が記入してある用紙は破棄いたします。記録用紙から得られたデータは ID 番号で管理し、匿名性の確保に努めます。データ入力、研究者のみが行いますが、データ処理等の際に個人情報が増える可能性は完全には否定できません。そのため得られたデータは研究者が責任を持って厳重に管理します。また、記録用紙は、私の研究室（三重県立看護大学）の鍵付き保管庫で保管します。記録用紙および電子データは、研究の終了報告から5年又は最終の公表から3年間保存したあとに、裁断、消去いたします。
5. ご希望により本研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、お申し出ください。
6. 研究結果は、看護系の学会および学術雑誌にて、聖路加国際大学の学生および三重県立看護大学の教員として公表したいと考えています。その際も、個人が特定されないよう匿名性を守ります。

本研究に関する質問がありましたら、いつでもお問い合わせください。

なお、本研究は、三重県立看護大学の個人研究費により実施されるため、開示すべき利益相反はありません。



研究者：菅原 啓太  
 所属大学：東京都中央区明石町 10-1  
 聖路加国際大学大学院博士後期課程  
 勤務先：三重県津市夢が丘 1-1-1  
 三重県立看護大学  
 電話：059-233-5600（代表）  
 Email：keita.sugawara@mcn.ac.jp  
 指導教員：聖路加国際大学大学院 教授 縄秀志

聖路加国際大学研究倫理審査委員会承認番号：20-A009  
 鈴鹿中央総合病院倫理審査委員会承認番号：〇〇〇